

✿ 発育調査の概要

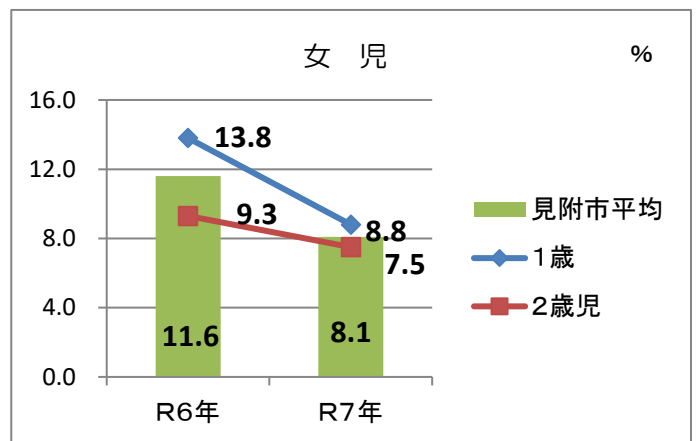
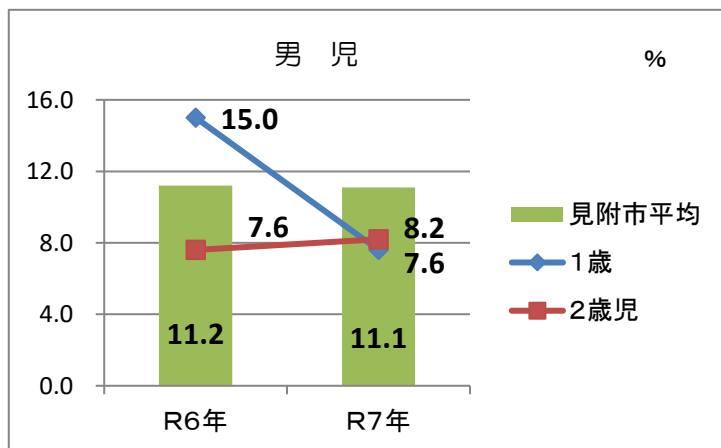
- ① 対象者 市内保育園・認定こども園 0歳～2歳児 362人
- ② 実施時期 令和7年6月 身体測定
- ③ 判定区分 肥満度（満1歳～2歳児）
- | | |
|--------|---------------|
| 太りすぎ | +30%以上 |
| やや太りすぎ | +20%以上～+30%未満 |
| 太り気味 | +15%以上～+20%未満 |
| ふつう | -15%超 ～+15%未満 |
| やせ | -20%超 ～-15%以下 |
| やせすぎ | -20%以下 |

※肥満・やせの判定基準は「日本人小児の体格の評価に関する基本的な考え方」に基づいています。

カウプ指数（1歳未満）
 肥満 20以上
 普通 14.5以上20未満

✿ 結果 1～2歳

【肥満度+15%（太り気味）以上の出現率】



【肥満度-15%（やせ）以下の出現率】

該当する園児が1.1%いました



✿ 結果 0歳

カウプ指数14.5未満のやせに該当する園児はいませんでした。20以上の肥満に該当する園児がいまし
 発達・発育はもちろん、離乳食の食べ具合、母乳やミルク量が日によって違ったり個人差があります。
 体重の増えやお子さんの様子に合わせて離乳食を進めていきましょう。

肥満は5歳頃に、やせは年齢が上がるにつれて増加する傾向があります。
 毎月、母子健康手帳の発育曲線および身長体重曲線に記録し、増加具合を確認しましょう。
 幼児肥満は学童肥満に進展しやすく、年齢が上がるほど解消しにくいと言われています。
 将来の健康のため、望ましい生活習慣・食習慣を家族でつくっていきましょう。